

# 都市街路スマート・モビリティ学社会連携研究部門

[モビリティ・ディバイドのない社会へ]

生産技術研究所 都市街路スマート・モビリティ学社会連携研究部門

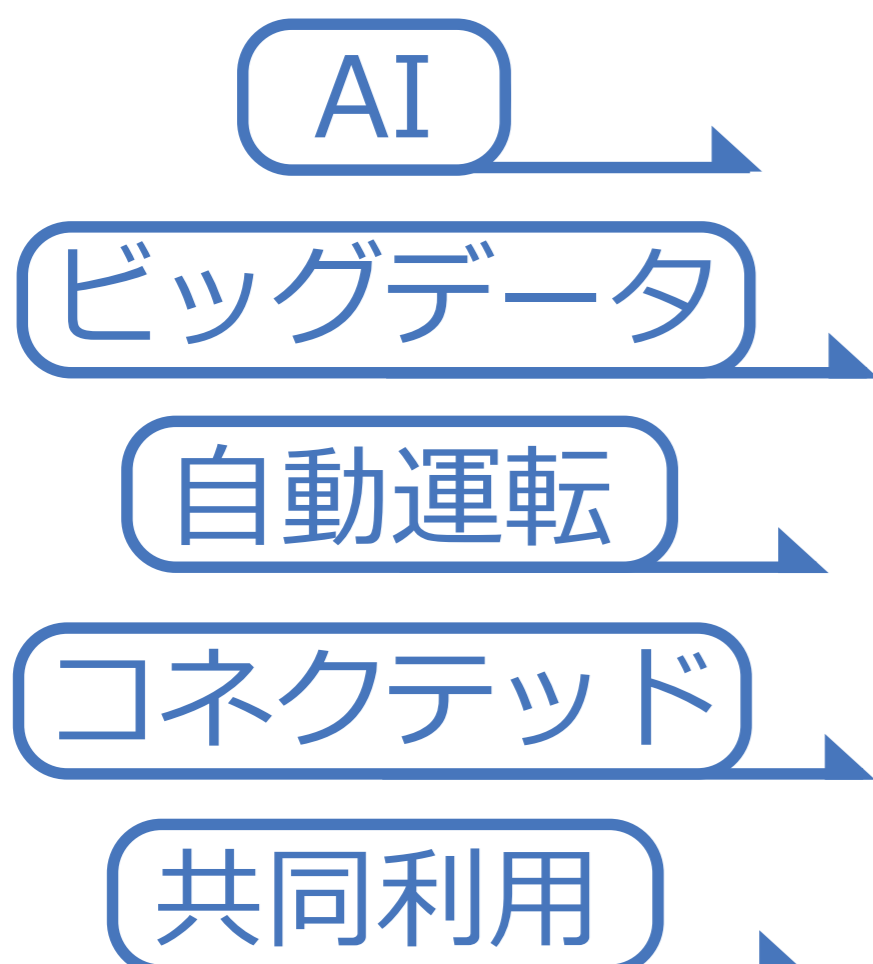
Urban Surface Street Management for Smart Mobility, Social Cooperation Program

都市街路スマート・モビリティ学

<https://www.usm.iis.u-tokyo.ac.jp/>

大きな変革期にあるモビリティのスマート化に対応し、未来の都市に求められる価値を創出するため、都市内街路交通の計画・マネジメントに関わる新たな基礎理論・技術の体系化と実践を行います。

モビリティの  
スマート化



URBAN  
SURFACE STREET  
MANAGEMENT

移動する権利

SDGs

多様性と包括性

「人」中心

未来の都市に  
求められる価値

自由に 自立して 安全に 快適に 環境にやさしく

みんなが、モノが、サービスが移動できる  
モビリティ・ディバイド<sup>\*</sup>のない社会へ

<sup>\*</sup>自動車等の保有や運転の可否などにより生じる移動できる/できないの格差



## 1. 街路の再定義と評価



モビリティ・ディバイドの解消に不可欠な、歩きたくなる道、使いたくなる公共交通を実現するために、**街路に必要な機能を再定義し、その性能を客観的・定量的に評価する仕組み**を構築します。街路における歩行者や車両の挙動観測やデータ分析、実験により、望ましい**街路構造や交通運用技術**を提案します。

## 2. 街路ネットワークの最適化

歩行者、公共交通利用者、自動車利用者など、異なるニーズを持つ誰もが快適に移動できる**最適な街路ネットワーク**を計画する手法を開発しています。



## 3. 実践から理論へフィードバック

理論や技術を現場で実践しフィードバックを繰り返すことで、持続的な社会実装を図ります。

### メンバー

大口 敬 教授 (交通制御工学) 本間 裕大 准教授 (都市環境数理工学) 平岩 洋三 准教授 (交通政策論)  
鳥海 梓 特任准教授 (道路機能設計学) 羽佐田 紘之 助教

連携企業：株式会社オリエンタルコンサルタンツ

設置期間：2024年10月16日～2028年3月31日

